



写真上／大空町の東藻琴芝桜公園で笑顔の三姉妹。

写真右／国内の観光地としても有名な美瑛町の「青い池」。旅行が好きなので休日を利用し、道内各地へ出かけるといふ寺尾さん家族。「子どもたちにはいろいろな場所で、たくさんの経験をさせてあげたい」と話す寺尾佳世さん。



佳世 娘がこども園で習ってきたことを家で話してくれるんです。「今日は何曜日だよ」と英語で話してくれたらだとか、「数字の勉強をしたよ」だとか。小さな子どもたちは、いろいろなことを吸収する力があるので、こども園で行われている幼児教育は素晴らしい町の取り組みだと思っています。
剛士 長女は町内で習字を習っているのですが、だんだんと上手になっていくのが自分でも分かっています。最近、友だちも習うようになって、一段と楽しそうにしています。
佳世 幼児教育もそうですが、字を書くことも日頃からやっている、小学校での勉強にもすんなりと入っていけるのかなと思います。
剛士 勉強はもちろん大事ですが、やはりあいさつがきちんとできるとか、人の気持ちを思いやれるとか、私はそういう人としての根本的なところを育てることが一番大事だと思っています、ですから

学校で「あいさつをしましょう」とあいさつ運動に取り組んでいるのは、すごく共感が持てます。
佳世 私も子どもたちには「思いやりのある子」に育ってほしいと思っていますし、やりたいことを見つけて、「それに向かって頑張る」、「失敗したとしても努力する」ということが大切だということ、いろいろな経験を通して学ばせてあげたいと思っています。白糠では中学生・高校生を対象に海外研修を行っています、私も高校生のときに海外でホームステイをしました。そのときは



ことが大事だなと思っています。
剛士 白糠小学校が中学校と統合され白糠学園となり、いまは校舎の裏に九合の山がありますので、子どもたちが学校やこども園にいるときは安心感があります。
佳世 子育て支援センターにいるときに、たまたま避難訓練があり

ました。園児や小・中学生が、ふざけることなく一生懸命に山へ向かって走る姿を見て、すごいなと思います。先生方の防災に対する意識の高さもうかがえました。こういう訓練がされていれば、いざというときに役に立ちますし、親としても安心できます。

しらぬか暮らし。

寺尾剛士さんと妻の佳世さん夫婦が、白糠町で暮らし始めたのは8年前。3人の子どもの生まれ、子育てをしながら、ここ白糠に自分たちの暮らしが根付いていくのを感じています。

寺尾剛士さん（以下、剛士）私は、牛や馬に興味があつて獣医という仕事に就きました。そうすると本場はやはり北海道ということになりますので、12年前に千葉県から北海道へ移住してきました。始めは弟子屈町で勤務し、8年前に異動で白糠町へ来ました。

寺尾佳世さん（以下、佳世）私は横浜市で生まれ、大学を卒業するまで横浜市にいました。その後、東京で仕事をし、結婚を機に弟子屈町へ来ました。その後、子どもが生まれ、今年、長女が白糠学園に入学したのですが、長女が生まれてから白糠学園に入学するまでの6年間で、白糠町の子育て支援

もどんどん魅力的になってきたと実感しています。例えば、学校で絵本をもらってきたり（※1）、防災用品をいただいたり（※2）、特に保育が拡充された（※3）のは、すごくありがたいです。私たちは共に両親が本州にいますので、体調を崩したりなど、何かあったときに、こども園で一時保育をしてもらえるというのは、すごく助かりますし安心できます。

剛士 医療費や給食費が無料なので、当初から十分な子育て支援を受けているんですね。

佳世 そんな白糠町ですが、不安もあります。それは「津波」です。新生児用の防災用品をもらえるのは大変ありがたいのですが、やはり津波への不安があります。

剛士 私たちの家は国道38号より南側の海沿いにありますので、津波避難タワーができる（※4）と聞いて、少しほっとしています。山へ逃げるといっても時間が掛かりますし、地震で国道が陥没してしまつたら山へは逃げられないですから。

佳世 津波が来るとなつたら、まずは動揺せずに子どもと自分の命を守る行動が取れるか、という



寺尾 剛士さん
千葉県佐倉市出身。北海道農業共済組合（NOSAI北海道）に勤務。学生時代に北海道で獣医の実習をし、広大な土地で働く先輩を見て北海道で働くことに決める。趣味はキャンプ、スポーツ観戦。

寺尾 佳世さん
神奈川県横浜市出身。大学卒業後、製薬会社に就職し東京勤務。2016年3月に結婚し、10月に北海道へ移住。趣味は旅行、パン作り。

- ※1 今年度から始まった新1年生に絵本を贈る「ブックサード」事業。生後4カ月の子どもの絵本とブックバックを贈る「ふるさとブックスタート」の拡充事業で、3歳児には物語に自分の名前がでてくるオリジナル絵本を贈る「ブックセカンド」を行っています。
- ※2 赤ちゃんの誕生祝に新生児用の防災備蓄品をプレゼントする「シリリカ・あいあいプレゼント事業」。
- ※3 保育は原則、両親の就労等が条件となっていました、今年度からはそれを廃止し、0～2歳児までの保育が可能となりました。また、事情があれば時間外での預かりも可能となっています（18時30分まで）。
- ※4 旧白糠保育園跡地と庶路支所駐車場の2カ所に「津波避難タワー」を建設中です。